

2017年度活動報告

(2017年4月～2018年3月)

(1) 危険物等事故防止対策情報連絡会 (資料1)

消防庁主催の2017年度第一回危険物等事故防止対策情報連絡会に危険物物流団体連絡協議会の事務局として参加

17年9月20日

第1回:2017年度危険物事故防止に関する状況の中間報告を実施 (施設の定期検査実施状況や非常時対策、作業従事者に対する安全教育等)

18年3月20日

第2回:2017年度危険物事故防止対策の実施状況および18年度危険物事故防止対策実施要領報告

(2) 危険物UN対応部会 (資料2)

国連の危険物の輸送並びに化学品の分類および表示に関する世界調和システムに関する専門家委員会の下部に位置する危険物輸送に特化した小委員会として国連危険物輸送専門家小委員会があります。

この小委員会で検討された日本及び各国並びに各種団体から提出された提案は、危険物等海上運送国際基準検討委員会(事務局:日本海事検定協会安全技術室)で審議されます。

危険物UN対応部会は、危険物等海上運送国際基準検討委員会が開催する部会で、危コン協の事務局として参加

17年7月14日

第1回:第51回国連危険物輸送専門家小委員会の対応について協議
リチウムイオン電池のハザードベース分類やUN高圧ガス容器の国際的相互認証等

17年10月11日

第2回:第51回国連危険物輸送専門家小委員会の報告

(6月27日から7月6日までスイスジュネーブで開催された会議内容の報告)

17年11月14日

第3回:第52回国連危険物輸送専門家小委員会の対応について協議
液化ガスに使用されるポー6ダブルタンクの最低板厚等について

18年1月23日

第4回：第52回国連危険物輸送専門家小委員会の報告

(17年11月27日から12月6日までスイスジュネーブで開催された会議内容の報告)

F R P製タンクセルの要件を採り入れる件等

(3) 危険物運送要件部会

CCC小委員会(危険物、固体貨物及びコンテナ小委員会)は、国際海事機関(IMO)の委員会の下部に位置する小委員会(事務局：日本海事検定協会安全技術室)です。

危険物運送要件部会は、SOLAS条約の規定に基づき2004年1月1日以降国際海上危険物規程(IMDGコード)が義務化され、わが国危険物運送基準に直接影響を及ぼすことになったことを踏まえ、わが国業界等の意見を的確に反映させること目的とした部会です。

17年8月21日

第1回：第4回貨物運送小委員会(CCC)への対応について

(2017年9月11日から9月15日までロンドンIMO本部で開催(参加国72か国 関連33機関)の会議内容についての報告)

17年10月11日

第2回：上記第4回貨物運送小委員会での審議内容報告

危険物リストに隔離グループをコード化して追加する件等

(4) 厚生労働省医薬食品局化学物質安全対策室と協議

17年6月20日

毒劇物の運搬容器(コンテナ、IBC、タンローリー)について
矛盾点等について意見交換

17年8月21日

厚生労働省安全衛生部にローリー等での高所作業時の安全作業について確認

17年9月22日通達で職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請を業界団体に実施。その中で荷役作業時の墜落、転落が増加しており安全に作業できる設備の設置が盛り込まれた(資料3)

(5) 消防庁危険物保安室

17年5月12日

フレキシブルバッグによる危険品輸送の見直しとタンクコンテナによる軽微な工事の変更届見直しについて要望

17年7月6日

フレキシブルバッグの事故事例等について説明

17年7月25日

フレキシブルバッグの規制強化要望に対して説明あり

国交省でこの問題を取り上げているが、現時点では見直しは考えていない。

(6) 国土交通省自動車局安全政策課 (資料4、5)

17年12月12日

フレキシブルバッグのアンケート調査結果について協議

危険物への使用が消防法によって認められていることについて安全上の問題と国際ルールとの整合性について説明。今後の協力を依頼

18年1月15日

フレキシブルバッグについて国内での規制官庁の違いについて意見交換

18年3月27日

海上コンテナの陸上輸送に係る安全対策会議で規制ではなく安全輸送ガイドラインとして公表されることの説明をうける。

危険物は消防庁、バッグの規格は経済産業省となるため国交省では規制をかけることが困難である

(7) 研修会

17年7月11日 (株)日陸 大会議室

国際海上危険物規程(IMDG Code)講習会 講師 本庄顧問

(参加18社 39名 資料6)

17年10月31日 (株)日陸 大会議室

水素社会実現に向けた取り組み 講師 岩谷産業株式会社 浅井様

(参加10社 35名 資料7)

17年11月14日 (株)日陸 大会議室
国際海上危険物規程(IMDG Code)講習会 講師 本庄顧問
(参加17社 46名)

18年3月20日 TKP ガーデンシティ竹橋
ロジスティクスの今日的課題と連携による問題解決
講師日本ロジスティクスシステム協会
北條 英 様 (参加5社 45名 資料8)

(8) 危険物物流施設の視察 (資料9)

17年5月31日
国土交通省による関西地区での危険物物流施設3か所
物流施設対策官をはじめ6名参加

(9) 日本危険物物流団体連絡協議会幹事、事務局会議

17年11月15日 賀詞交歓会及び施設見学会今後の日程について
17年12月12日 賀詞交歓会招待者への案内状、進行について
17年2月13日 賀詞交歓会会計報告と次回開催の日程確認

(10) 理事会

17年5月27日 第30回理事会開催
16年度(15/4~16/3)の活動報告および17年度(15/4~16/3)の
活動計画、総会議案等について審議

18年2月27日 第31回理事会開催
新規入会2社(博多運輸株式会社様、株式会社ちゅうえき様)
退会1社(シュッツ・コンテナ・システムズ様)が承認されました

17年度の活動状況報告と18年度活動計画案が審議されました

(11) 総会

17年6月7日 第20回:16年度(16/4~17/3)の活動報告、会計
報告、17年度(17/4~18/3)の活動計画について承認

(12) 賀詞交歓会(危物協)

18年1月25日 交詢社において賀詞交歓会を開催しました。
(参加者:222名、内危コン協47名)

(13) 親睦会

17年11月7日 第11回ゴルフ懇親会

ニュー南総ゴルフ倶楽部にて開催(参加：14名)

以 上